

三菱自動車、1トンピックアップトラック『トライトン』が2025年次「RJCカーオブザイヤー」特別賞を受賞

三菱自動車工業株式会社（本社：東京都港区、代表執行役社長兼最高経営責任者：加藤隆雄、以下三菱自動車）は、1トンピックアップトラック『トライトン』が、NPO法人日本自動車研究者・ジャーナリスト会議（RJC）が主催する2025年次「RJCカーオブザイヤー」特別賞を受賞したことを発表しました。



『トライトン』



今回の受賞理由は以下の通りです。

「ピックアップトラックでありながら、SUV的な用途で、キャンプやさまざまなアウトドアスポーツを楽しむアクティブなユーザー層に好評。悪路走破性や走りの楽しさといった三菱自動車らしさ、パジェロで培った四輪制御技術や信頼性・耐久性を評価した。」

『トライトン』は、1978年に発売された『フォルテ』をルーツとする1トンピックアップトラックで、以来45年間で5世代にわたり約570万台を生産、世界約150カ国で販売してきた三菱自動車の世界戦略車です。

今回、「Power for Adventure」という商品コンセプトのもとで開発を進め、内外装デザインからシャシー、ラダーフレーム、エンジンなどを一新し、2023年7月より生産工場のあるタイで販売を開始。世界約100カ国へ順次投入する予定で、日本へは2024年2月に導入しています。マリンスポーツやウィンタースポーツ、キャンプといったアウトドアアクティビティでの可能性を広げて、お客様の冒険心にお応えする、三菱自動車らしさを象徴するモデルのひとつです。

■2025年次RJCカーオブザイヤーの概要

34回目を迎えた本年度の「RJCカーオブザイヤー」の選考は、2023年11月1日から2024年10月31日までに発表された国産車を対象に、RJC選考委員の投票によって実

施。11月1日に「6 ベスト」が選出され、その中から11月12日の投票によって2025 年次「RJC カーオブザイヤー」が決定しました。

三菱自動車はこれまで、「RJC カーオブザイヤー」を4 度*¹、「RJC テクノロジー オブザイヤー」を6 度*²受賞しています。

*1・・・軽自動車『アイ』（2007 年次）、クロスオーバーSUV『エクリプス クロス』（2019 年次）、軽ハイトワゴン『eK ワゴン』『eK クロス』（2020 年次）、軽EV『eK クロス EV』（2023 年次）

*2・・・『ギャラン』『エテルナ』のINVECS（1993 年次）、『FTO』のINVECS II+スポーツモード AT（1995 年次）、『ギャラン』『レグナム』のGDI エンジン（1997 年次）、『アウトランダーPHEV』のプラグインハイブリッド EV システム（2014 年次）、『エクリプス クロス』の「進化した PHEV システムと S-AWC」（2022 年次）、『eK クロス EV』の「軽 EV の電動化技術」（2023 年次）

< 『トライトン』車種サイトはこちら >

<https://www.mitsubishi-motors.co.jp/lineup/triton/index.html>

以上